

日本海洋学会教育問題研究会
2012 年度活動報告および 2013 年度活動計画

2013 年 3 月 22 日

登録会員数 40 名（前年比 +1）

2012 年度活動報告

1. 第 9 回「海のサイエンスカフェ」開催

日 時： 3 月 31 日（土）11 時から 13 時まで

場 所： ヴァージンカフェ品川（東京都港区港南 1 丁目 9 番 32 号 アレア品川別館 207）

話 題： 海流のなぞにせまる—人工衛星からみる海流—

話題提供：小橋史明（東京海洋大）

進 行： 上野洋路（北海道大学）

主 催： 日本海洋学会教育問題研究会

担 当： 須賀利雄、市川洋

参加者： 一般 8 名、海洋学会員 9 名（内、研究会会員 7 名）

2. 雑誌「日本の科学者」2012 年 7 月号、特集「海洋教育」への寄稿

市川洋：海洋科学とは何か—海洋科学の概要と日本の海洋教育の問題点. 日本の科学者, 第 47 卷 7 号(通巻 534 号), 4 頁—10 頁.

轡田邦夫・市川洋：日本海洋学会教育問題研究会の活動とわが国の海洋教育の課題. 日本の科学者, 第 47 卷 7 号(通巻 534 号), 11 頁—16 頁.

福島朋彦：海洋教育の普及を目指して—初等・中等教育と高等教育のつながりを考える. 日本の科学者, 第 47 卷 7 号(通巻 534 号), 29 頁—34 頁.

3. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日 時： 7 月 9 日（月）09：30～12：00、7 月 11 日（水）09：30～12：00

場 所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

主 催：真鶴町

協 力：横浜国立大学、教育問題研究会

指導者：渡部 孟（真鶴町立海の学校校長）

支援者：菊池研究室大学院学生 3 名、真鶴町立「海の学校」職員 2 名

受講者：真鶴町立真鶴小学校 6 年（5 日：1 組、6 日：2 組）

教育問題研究会参加者：乙部弘隆、菊池知彦

4. 2012 年地学オリンピック 8 月合宿研修講師派遣

日時：8 月 21 日

場所：神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）

主催：地学オリンピック日本委員会

内容：海洋学

対象：2012 年地学オリンピック（アルゼンチン）日本代表選手 4 名

派遣講師：市川洋

5. シンポジウム「海洋の知識を社会に伝える科学コミュニケーションスキル」開催

日時：2012年9月13日、13時30分-16時30分

場所：東海大学清水校舎

共催：日本海洋学会教育問題研究会、特定非営利活動法人 海の自然史研究所、
東京大学海洋教育促進研究センター

コンピーナー：市川 洋・今宮則子・福島朋彦

開催報告：JOS ニュースレター掲載（福島朋彦）

6. 第10回「海のサイエンスカフェ」開催

日時：2012年9月17日（祝）、10時30分-12時30分

場所：静岡市清水区役所清水庁舎

話題：海洋生物の放射能汚染～わかっていること、わからないこと～

話題提供：神田穰太（東京海洋大学）

進行：須賀利雄

担当：須賀利雄・市川洋（協力：宗林留美（大会実行委員会））

主催：日本海洋学会教育問題研究会

共催：2012年度日本海洋学会秋季大会実行委員会

協力：サイエンスカフェ in 静岡

参加者：一般19名、海洋学会員11名（内、研究会会員6名）

7. シンポジウム「共に語ろう、東日本大震災後の海洋科学研究と教育」開催

サイエンスアゴラ 2012 参加企画提案

日時：11月11日（日）、10時15分-12時

場所：東京お台場地区（産業技術総合研究所臨海副都心センター別館 11階 会議室1）

主催：日本海洋学会教育問題研究会

参加者：一般11名、支援者4名、登壇者6名（合計21名、海洋学会員8名）

教育問題研究会員（嚮田邦夫、岸道郎、市川洋）

8. 総合学習授業「未来の自分をデザインしよう」講師派遣

幹事会が海洋学会宛の依頼を受け、教育問題研究会が対応

日時：1月18日

場所：大田区立池上第二小学校（東京都）対象：6年生

協力：キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会

内容：レスキュー隊員、看護師、おもちゃの会社員、子ども服のデザイナー、考古学者、TVプロデューサー、建築士、天文学者、パティシエ、電車の運転手、トリマー、歯科医師、幼稚園の先生、声優、ほかとともに生徒に各自の職業の内容などを紹介

派遣講師：市川洋

9. 高等学校学習指導要領の平成25年度実施開始への対応および今後の改訂に向けての活動

海洋教育連絡会議（1月22日）に参加

日本財団と海洋政策研究財団からの招請（市川洋）

学習指導要領の次期改訂を視野に海洋に関する記述拡充を図るため、海洋教育に関心のある

関係者と今後の具体的な方策について戦略的に議論するとともに、各機関同士の情報共有及び今後の活動について意見交換。

10. その他

- 1) 教育問題研究会から震災対応WG（情報発信担当）に参加：伊藤進一、豊川雅哉、市川洋
- 2) ウェブサイトの更新（担当：藤井直紀）
- 3) 日本と台湾の海洋知識普及状況調査（担当：岩崎望・福島朋彦）
3月29日 参加者募集開始、グループ結成。4月24日 台湾の現状報告。再検討中
- 4) 間々田会員の「地球惑星科学連合(JPGU)の教育問題検討委員会教育課程小委員会」メンバーの確認（7月5日）。
- 5) 「海はめぐる一人と生命を支える海の科学」の寄贈（担当：岸道郎）
著者から提供された124冊の中の96冊を学会長、研究会長の連名（送料は研究会負担）で、東北地方大震災被災地の高校に寄贈（6月7日-7月10日）。
- 6) JOSニュースレターへの投稿
海のエッセイ1（岸道郎）、海のエッセイ2（伊藤進一）
シンポジウム「海洋の知識を社会に伝える科学コミュニケーションスキル」開催報告
（福島朋彦）
ナイトセッション「日本の海洋学における人材育成とポスドク問題」について（伊藤進一）

<情報>

会員がかかわった海洋教育関連活動

- 1) 大学学部少人数セミナー「伊都国廃棄物資源化実習」での干潟・砂浜・内湾環境の見学
日時：7月12日（水）、7月19日（木）、8月10日（金）
場所：福岡湾今津干潟・長浜海岸（7月12日）、博多湾マリゾン海岸（8月10日）、
博多湾一周（8月10日）
主催：九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室
協力：国土交通省九州地方整備局博多港湾事務所（視察船）
支援者：九州大学（移動用バス提供）
参加者：80名（学部1年生の選択科目、全学部）
指導者：清野聡子
- 2) 神奈川県下の小中高等学校教員を対象とした集中講座
日時：7月25日
場所：座間市教育委員会・座間教育研究所
題目：地球環境を考える
講師：下出信次（海洋学会員）
担当：菊池知彦
- 3) 日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」
日時：8月7日（火）
場所：駿河湾内
題目：海の不思議にふれる 一望星丸は海の実験室

内容：洋上での観測調査の実体験（プランクトン採集・観察，CTD 観測，採泥ほか）

講師：轡田邦夫・加藤義久・千賀康弘・澤本彰三・成田尚史

参加者：中学生 11 名，高校生 48 名，引率教員・保護者若干名

- 4) 特別展「深海の不思議 海への夢と希望をとりもどそう！！」関連イベント参加

開催日：8月22日

場所：仙台市科学館

題目：海水の不思議

講師：伊藤進一

- 5) 真鶴こどもクラブ体験乗船とプランクトン観察

日時：8月24日

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

実習内容：実習船「たちばな」体験乗船とプランクトン採集・観察

講師：菊池知彦

- 6) 神奈川県二宮高等学校生、教員を対象とした海洋実習

日時：8月24日

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

実習内容：実習船「たちばな」による海洋観測とプランクトン採集

講師：菊池知彦

- 7) 東京大学柏キャンパス一般公開のイベント参加

日時：10月27日(土)

場所：大気海洋研究所

内容：紙芝居「おにぎりとうみ」他

講師：乙部弘隆

- 8) JOS ニュースレターに「田中恒夫：フランスの海洋学の教育事情」原稿投稿を仲介（岸道郎）

12月18日

2013 年度活動計画

1. COSIA（海洋科学コミュニケーション実践講座）の体験ワークショップ開催

共催：海洋学会教育問題研究会、海の自然史研究所

日時：3月21日（木）13：00～17：00

場所：第6会場（講義棟31番教室）

担当：市川洋、今宮則子

2. シンポジウム「海洋学の10年後を考える」における講演

日時：3月21日（木）13：00～17：00

場所：第3会場（講義棟32番教室）

講演題目「教育問題研究会から」

担当：上野洋路

3. ナイトセッション「日本の海洋学における人材育成とポストドク問題について」開催

主催：日本海洋学会教育問題研究会、海洋若手会

日時：2013年3月22日 18:00～20:30

場所：東京海洋大学品川キャンパス白鷹館1階講義室（第1会場）

担当：伊藤進一

4. 第11回「海のサイエンスカフェ」開催

日時：2013年3月23日（土）、10時30分～12時30分

場所：ヴァージンカフェ品川（東京都港区港南1丁目9番32号 アレア品川別館207）

話題：気候変動と海洋生態系－風が吹くとイワシが増える？－

話題提供：伊藤幸彦（東京大学大気海洋研究所）

進行：川合美千代（東京海洋大学）

主催：日本海洋学会教育問題研究会

担当：須賀利雄・市川洋

5. 大学施設を利用した海洋教育の実践

日時：未定（7月上旬）

場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）

主催：真鶴町

協力：横浜国立大学、教育問題研究会

指導者：渡部 孟（真鶴町立海の学校校長）

支援者：未定（菊池研究室大学院学生、真鶴町立「海の学校」職員）

受講者：真鶴町立真鶴小学校6年、教員2名

担当：菊池知彦

6. 第12回「海のサイエンスカフェ」開催

日時：日本海洋学会2013年度秋季大会期間中

場所：未定（札幌市内） 話題、話題提供、進行：未定、

主催：未定（教育問題研究会、地元団体・組織）

担当：上野洋路

7. シンポジウム「日本の海洋学における人材育成とキャリアパス支援の可能性について（仮題）」

日時：日本海洋学会2013年度秋季大会期間中

場所：未定（札幌市内） 担当：伊藤進一ほか、

主催：教育問題研究会、海洋若手会（予定）

担当：伊藤進一、ほか

8. JOS ニュースレターに「海のエッセイ3、4、5」を投稿（調整担当：岸道郎）

9. その他

1) 検討中

- 市民との海洋研究交流・出前授業支援（川合美千代）
- メディアとの対話（市川洋、難波美帆）
- 海洋リテラシー普及に関わる映像製作事業（岸道郎、岩崎望）
- 研究会ウェブサーバー移転（岸道郎、藤井直紀）

2) 前年度からの継続事項

- 海洋リテラシーに関する日台共同調査（担当：岩崎望、福島朋彦）

- 「メディアとの対応」促進活動
質疑応答ウェブ立ち上げ（担当：藤井直紀、市川洋、川合美千代）
- 海洋総合検定事業（担当：市川洋）
日本財団の助成金事業に申請したが不採択となった。現在は中断（中止ではない）の状態
（2013年1月22日 日本海洋工学会事務局 猪口茂樹氏）。

<情報>

会員がかかわる海洋教育関連活動の予定

- 1) 日本学術振興会 研究成果の社会還元・普及事業「ひらめき☆ときめきサイエンス」
日時：8月6日（火）
場所：駿河湾内
題目：海の不思議にふれる ー望星丸は海の実験室ー
対象：中学・高校生（50名）
問い合わせ先：響田邦夫
- 2) 真鶴こどもクラブ体験乗船とプランクトン観察
日時：未定
場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）
実習内容：実習船「たちばな」体験乗船とプランクトン採集・観察
問い合わせ先：菊池知彦
- 4) 神奈川県二宮高等学校生、教員を対象とした海洋実習
日時：未定
場所：横浜国立大学大学院環境情報研究院附属臨海環境センター・岩漁港（真鶴）
実習内容：実習船「たちばな」による海洋観測とプランクトン採集
問い合わせ先：菊池知彦
- 5) 神奈川県下の小中高等学校教員を対象とした集中講座
日時：未定
場所：座間市教育委員会・座間教育研究所
題目、講師：未定
問い合わせ先：菊池知彦